



責任者からのメッセージ

泌尿器科
教授 賀本 敏行



当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。

当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。当教室は、宮崎医科大学の開設にともない昭和52年に開講されました。平成21年5月から私が3代目として担当させていただいております。

プログラムの特徴

宮崎大学泌尿器科専門研修プログラムは宮崎大学医学部附属病院を中心としたいくつかの診療拠点病院と地域医療を担う地方中核病院の2群から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができるよう配慮しました。また学術的な涵養を目的とした大学院進学コース、専門研修後にはより高い臨床実施能力の獲得を目指す臨床修練コース、2つから選択することが可能です。

募集定員 6名
研修期間 4年

連携施設名等

施設名	指導医	年間手術件数
宮崎大学医学部附属病院	賀本 敏行 教授、他7名	421
東立延岡病院、東立日南病院、藤元総合病院、野崎東病院、千代田病院、おがわクリニック、串間市民病院、潤和会記念病院、古賀総合病院、小林市立病院、人吉医療センター、熊本大学病院、済生会熊本病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

○ 大学院進学コース

大学院進学コースにおいては専門研修4年次において大学院へ入学する。病棟や外来業務は従来と同様に行うが、一方で自分の専門分野を決定し研究の準備も並行しながら行う。本コースを選択した場合は卒業後6年間で専門医の取得が可能で9年間で学位を取得することが可能です。



○ 臨床修練コース

臨床修練コースにおいても原則的には2-3年目を研修連携施設で研修し4年目に大学病院に戻って研修しますが、本人の希望や研修の進み具合により2年目以降の研修先に関しては専門研修プログラム委員会が決定します。



取得可能な専門医資格および技能

- 1 泌尿器科専門医、指導医
- 2 癌治療認定医
- 3 泌尿器腹腔鏡技術認定
- 4 日本内視鏡外科技術認定(泌尿器科領域)
- 5 日本小児泌尿器科学会認定医
- 6 da Vinci Xi surgical system certificate

プログラム達成目標

専攻医は泌尿器科研修プログラムによる専門研修により、「泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師である」という基本的姿勢のもと、4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)からなる資質を備えた泌尿器科専門医になることを目指します。また、各コアコンピテンシーにおける一般目標、知識、診療技能、態度に関する到達目標が設定されています。

○ 4つの基本的診療能力(コアコンピテンシー)

- 1 泌尿器科専門知識
- 2 泌尿器科専門技能：診察・検査・診断・処置・手術
- 3 継続的な科学的探求心の涵養
- 4 倫理観と医療のプロフェッショナリズム

主要症例名と実績数

- 1 前立腺、尿道：前立腺癌、前立腺肥大症、尿道狭窄、尿道下裂
- 2 膀胱：膀胱癌、膀胱結石、神経因性膀胱、膀胱尿管逆流症、間質性膀胱炎
- 3 腎：腎細胞癌、腎盂癌、腎結石、末期腎不全、水腎症
- 4 尿管：尿管癌、尿管結石、尿管狭窄
- 5 副腎：副腎腫瘍
(原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫)
- 6 陰囊・陰茎：精巣癌、陰茎癌、停留精巣、精索捻転、陰嚢水腫

術式	2021	2022
腎摘除術	腹腔鏡	37
	開腹	0
腎部分切除術	腹腔鏡	0
	ロボット	24
	開腹	2
腎尿管全摘除術	腹腔鏡	21
	開腹	0
副腎摘除術	腹腔鏡	9
	開腹	0
膀胱全摘除術	腹腔鏡	19
	開腹	0

術式	2021	2022
前立腺全摘除術	腹腔鏡	0
	ロボット	64
	開腹	0
内視鏡手術	膀胱手術	71
	前立腺手術	2
小児手術	精巣固定術	17
	尿道形成術	3
その他	膀胱尿管逆流防止術	7
		110

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
朝	カンファレンス	抄読会			カンファレンス
午前	外来診察・入院患者処置	外来診察・入院患者処置	手術	外来診察・入院患者処置	手術 外来診察・入院患者処置
午後	外来診察・入院患者処置	カンファレンス・回診	手術	外来診察・入院患者処置	手術
夕方	小児泌尿器科カンファレンス (第2月曜)	病理カンファレンス (隔週)			

指導医からのメッセージ



准教授 澤田 篤郎

泌尿器科の医師が携わる領域はこの10年間でダイナミックに変化しています。手術はロボット手術による低侵襲かつ質の高い手術がメインとなり、またがん薬物治療では免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬の導入で治療選択肢が増えたこともあり、一人ひとりの患者さんに一貫して満足感のある治療を行うことが可能となりました。また排尿障害や尿路結石、男性医学や女性骨盤臓器脱など、幅広い領域のスペシャリティがあるのも泌尿器科の特徴です。特にロボット手術においては、泌尿器科が10年以上前に他のどの診療科よりも早くロボット手術を導入しリードしてきました。宮崎大学には最新機種のだ Vinci Xiが2台ありますので、当科ではこれをフル活用して最高峰の手術を患者さんに提供しています。当科の雰囲気は、漢気あふれる賀本教授を中心に明るく和気あいあいと仕事をしています。国内留学にも積極的で、京都大学やその関連病院、札幌医科大学などで貴重な経験を積んで医師としての幅を広げることも可能です。研修医の皆さん、ぜひ一度見学に来てください。お待ちしております！

先輩からのメッセージ



泌尿器科2年目 宮元 耀嗣

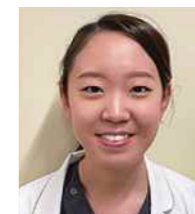
私が宮崎大学泌尿器科に入局しようと思ったのは初期研修医2年目の夏でした。それまでは、漠然と外科系に進みたいと考えておりました。泌尿器科には、開腹手術・腹腔鏡手術、内視鏡、排尿機能、生殖、小児、移植、感染症と様々な分野があります。外科的な治療だけでなく、排尿機能や抗がん剤などの内科的な治療まで幅広く行うところが最大の魅力でした。早いもので入局して1年が経ちましたが、手術の執刀だけでなく、透視下でのステント挿入術、内視鏡操作など様々な手技を経験させていただいております。手技だけでなく、内科的にも癌や結石、排尿障害などと格闘する日々です。本当に様々な症例に出会うため、飽きる暇がありません。少しでも泌尿器科に興味のある方、まだ進路を決めていない方は是非、一度雰囲気だけでも味わいに来られてはいかがでしょうか？

ココに注目！

泌尿器科とは？

外科or内科系？どんな疾患をみるの？全身管理はするの？抗がん剤の治療はするの？などなど、名称ではイメージがつかない科の代表だと思います。外科的治療では内視鏡治療、腹腔鏡、ロボット支援手術を進展させ、内科的治療では分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤などを多く使用している科です。一人の患者さんに対し診断、手術、抗がん剤治療、週末期に至るまでを主科としてみる事が多く、初期症状から人生の終着までの一連の流れを体験・理解することができます。また、研修中に習得してもらいたい手技として、腹部エコーや導尿などを指導しております。是非コツを掴んでください！最後に、研修すれば入局したくなってしまうと思います。お互い別れはつらいですが、他科に進まれる場合も笑顔でお見送りしますので、心配なく研修に来てください！それでは、会える日をお待ちしております。

泌尿器科1年目 大橋 かすみ



今年度泌尿器科に入局した大橋かすみです。宮大卒業後、県外で初期研修を行い宮崎に戻ってきました。泌尿器科には学生時代から興味があり、ロボットを用いた大手術から、腎臓・膀胱瘻造設術や結石手術、透析シャント拡張手術など、幅広い手技ができることに魅力を感じて選びました。初期研修先への入局も考えましたが、宮崎大学の先生方のお人柄や雰囲気の良いさに惹かれ、宮崎大学泌尿器科での専門研修を選びました。入局して1か月ほど経ち、先生方の熱心な指導のもと、日々手術や外来、外勤などに取り組んでいます。あなたも宮崎大学泌尿器科で充実した日々を送りませんか？ぜひお待ちしております。

お問い合わせ先 TEL: 0985-85-2968

FAX: 0985-85-6958

担当: 高森 大樹 e-mail: urology@med.miyazaki-u.ac.jp

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/urology/

泌尿器科 HP

